



# 教たま

稚内北星学園大学  
数学教員養成ゼミ通信  
第13号  
2015.3.31  
文責 渡辺千尋(3年)

## 卒業式の先輩2人 きりっとしていました。

3月14日(土)晴れ。袴姿と  
きりっとしまった顔が並ぶ卒  
業式、少しの寂しさと来年は  
私という焦り。松尾さん、江  
戸さんにゼミから花束と色  
紙。ゼミの卒業を祝う会で贈ったネクタイと靴下を身につけてく  
れていた。卒業生代表の江戸さんの答辞、在校生代表の橋本薫さ  
んの送辞、先輩後輩の2人のゼミ生の言葉は、ありきたりでなく  
心を伝えていた。江戸さんは稚内大谷で先生に、松尾さんは教育  
大札幌(院)へ立派な教師になるための厳しい修行に巣立った。

春休み前の2月、波風食  
堂本店で卒業を祝う「味  
噌煮込みうどん食べる  
会」。佐々木学長先生から  
名古屋名物の提供。学長  
先生自ら首にタオル巻い  
て陣頭指揮。食べて食べ  
て…最後はご飯でメ。そ  
して、恒例の「稚北カル  
タ」、麦チヨコ対決、ダー  
ツ…新年度もみんなで幸  
せを感じられますように。

## 味噌煮込みうどん食べる会 今年もやりました。

こちら本場名古屋の味噌煮込み  
うどんをよく知っているお二人。



■趣味→寝ること！昼寝はかせません■最近ハマってる  
食べ物→チャーメン■好きな男性のタイプ→イケメン！

**渡部 千尋** 1年間、ゼミ  
長を務めた。私  
たちのゼミは、地域交流の活動が多いので、集合時間、  
持ち物、服装などの連絡が常に飛び交う。本来はゼミ長  
の私がまとめ役だったり発信役なのだが、いつも誰かが  
やってくれたってくれた。  
1年前のゼミ長選挙で私は、「ゼミはみんなで作るも  
の。私は名前だけ、でも誰かが事件を起こしたら私が全  
責任を負う」と立候補で言った。しかし、誰も事件を起  
こさず、非常事態もなかった。(よかった！)むしろ、  
ゼミ長は特別扱いを受けることが多い節があり、役割決  
定でも「ゼミ長(は苦勞してるのでそれ)以外の人で」  
という流れで、みんなより仕事をしていない気がする。  
一人一人が意識を高く持って、全員協力でゼミをつくっ  
てきたからだろう。そんなゼ  
ミで、「ゼミ長」という役割を  
担うことができ、なんとも幸  
せだった。今までありがとう  
ございました。



第2代目ゼミ長

●春休み中、ゼミに依頼  
があったグングン塾2回  
(潮小5年生30人)にの  
べ9人、「自然の家」(小  
学生7人)に5人が学習  
支援。ゼミの1年生から  
「今までグングン塾など  
で経験を積んだ」先輩の  
指導力、子どもたちの接  
し方はすごい」の声●教  
員採用試験まで残り3ヶ  
月。この春休み中、教職  
担当の先生たちから、教  
職・一般教養、専門の数  
学の特訓受けてきた3年  
生。4月(土)日は教採  
模試。これまで1次突破  
した先輩たちは、今時期  
の勉強が一〇時間。こう  
いう時こそ声かけあって  
励ましあって●新4年5  
人のゼミ生、全員が教育  
実習へ。5月からの人も



**Q** 全員投票(11人)のゼミ選挙で、ゼミ長に  
決まった瞬間の気持ちは？

**A** 選挙で、私を支持してくれる  
人が多かったことに驚きました。とても嬉し  
かったです。同時にゼミをひっぱっていく責任と不安を感じました。

1年生からこ  
のゼミで勉強  
(自主参加)さ  
せてもらいま  
した。ゼミの  
変わり方を見  
てきました。

**Q** これから1年間、ゼミ長になるにあたっての決意は？

**A** この人がゼミ長で良かった！と思われるようがんばります！

**Q** ゼミ長としてみんなに言いたいことは？

**A** 一緒に学ぶ仲間なので、一緒に成長してゆきましょう！先輩方は厳しく指導して  
ください！同級生、後輩は支えてくれると嬉しいです！